



市民の声を聞いて!!

市民センター機能の削減は中止を!!



「公民館廃止・コミセン化」スケジュールありきで混乱

9月議会では、大津市が、市民も議会も置き去りに市政をおし進める姿が浮き彫りになりました。日本共産党市議員団は、市民の暮らしに寄り添い、市民とともにまちづくりを進める大津市をと奮戦しました。



緊急質問を行う杉浦市議（中央）

市民・議会無視の コミセン化条例案

市は、来年度から公民館を廃止してコミュニティセンターにしようとする強行に進めてきました。しかし、中身を議論すればするほど、コミセンにする必要性は見当たらず、飲食目的の使用も市の規則さえ変えればできることが明らかになっていきます。その上、来年度からの実施にこだわるあまり計画は不透明で、8月末の委員会でも様々な問題が指摘されましたが、市は9月議会にコミセン化の条例案を提出しました。

ところが市は9月25日、議会の賛成が得られないからと条例案を撤回し、新案の再提出を表明。しかも、10月1日にその内容の説明を行いながら、それから数時間後に、市自治連合会役員から申し出て再提出をしないとの通知がきました。市民も議会も無視の行いに、党市議員団は緊急質問を求め、杉浦市議が質問に立ちました。

計画は白紙撤回を!

こうした混乱の原因には、市民や議会、職員や現場の意見が耳を貸さない強引な市政運営があります。閉会日には議長から市長に対し「市民へのより丁寧な説明や、十分な庁内協議等に努めるよう求める」という異例の発言もありました。しかし、市は4月実施をねらい、コミセン化条例案を再提出するために11月特別会議を開会します。市の行いはあれこれの意見の違いという問題ではなく、民主主義を否定するものであり、このような市政に大津のまちづくりを左右する「市民センター機能の見直し」をさせるわけにはいきません。

党市議員団は現在の市民センターを守り、発展させるために全力で取り組みます。



「支所、公民館を守って」と市役所前でアピールする市民

公民館をコミセンに変えるとどうなる?

Q そもそも公民館って?

A 市民のいろいろな学ぶ権利を保障するための公共施設です。

「学ぶ権利の保障」は?

Q 市が言ってる「コミセン」って?

A 地域活動の拠点として、各学区の「まちづくり協議会」に運営させる施設です。

Q 「まちづくり協議会」?

A 学区内のすべての住民と、自治会や各種団体で作る新しい自治組織とされています。

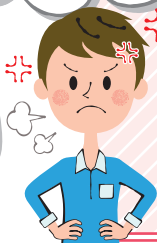
Q 「運営」って何するの?

A 貸館業務、自主的な催しの実施、建物の清掃・管理などを、自分たちで職員も雇って行います。市からは委託料が払われます。

うちの学区、自治会役員のなり手もないのに

市の責任は?!

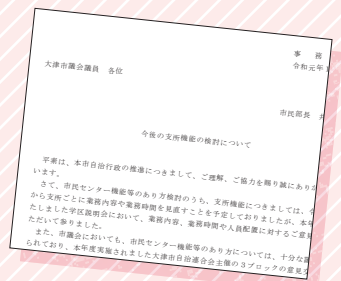
貸館したり人を雇ったりすると、税金や社会保険の支払いも……できる?



市民の声が市政を動かす!

来年度からの支所機能削減が延期に!

大津市は、来年4月から25か所の支所で、取り扱う業務を削減し、窓口時間を午後3時までに短縮しようとしていましたが、10月7日、「十分に協議する時間を設けるため」実施を1年延期すると発表しました。来年度実施にこだわる市の強引な進め方と、市民の願いとの矛盾がふき出した形です。市は支所機能の削減、公民館の廃止をあきらめていませんが、党市議員団は、引き続き市民のみなさんと力を合わせ、白紙撤回をめざします。



延期を伝える通知文書

窓口時間の短縮中止決議の提案 合意形成を求める請願 → 否決

の会派に提案しましたが、自民・公明などの会派が認めませんでした(中面に関連記事)。また、コミセン化について丁寧な議論や合意形成を求める市民の請願も否決されました。

2019年
9月通常
会議

日本共産党
大津市会議員団

暮らし・営業を守る市政へ 市民の立場で奮闘



議会質問紹介

保育園の民営化は白紙に

柏木けい子市議



民営化されようとしている逢坂保育園

市は、大津の保育を支えてきた市立保育園の民営化を計画しています。現在、逢坂、天神山の2保育園が対象とされ、比良、唐崎、和邇、伊香立についても検討されています。

しかし、民営化についてのパブリックコメントには、市民808名が意見を寄せられ、反対意見661件に対し、賛成意見は2件のみでした。柏木市議は子どもの健やかな育ちを保障するために市立で残すべきと、市の姿勢を追及しました。

市は 白紙撤回はしないと、あくまで民営化を進める方向です。

【その他の質問項目】 市社会福祉協議会の補助金、平和の取り組みについて

とぼしい予算 足の確保待ったなし

岸本のり子市議

高齢化が進む一方、公共交通の不便さは増し、高齢ドライバーの事故も社会問題となっています。

岸本市議は、コミュニティバスなど公共交通充実への予算が、他の中核市では平均2億3千万円であるのに対し、大津市はその5分の1にも満たないことを指摘し、施策の転換を求めました。予算を増やし市の責任で、市民の「足」の確保に取り組むことが急務です。

市は 地域で自立していくための取り組みに支援を行うと、住民まかせの答弁でした。

【その他の質問項目】 生活困窮世帯の進学支援、比良駅のバリアフリー化について

子どもの命最優先の保育行政に

杉浦とも子市議

10月から始まった幼児教育・保育の無償化は、認可外保育施設も対象となっています。認可外でも指導監督基準がありますが、当面5年間は基準を満たしてなくても届出のみで無償化費用が支払われます。

杉浦市議は、認可外の基準すら満たさない劣悪な施設を排除するために、無償化の対象を制限する条例制定を提案。子どもの命を守るために市の責任ある取り組みを求めました。



市は 条例制定は予定しておらず、認可施設が利用できるように環境を整えたいと答えるにとどまりました。

【その他の質問項目】 会計年度任用職員制度、市民病院の経営、学力テストについて

市の未来は市民とともに 一支所問題

小島よしお市議

市は「市民センターのあり方を見直す」として、支所機能の削減、公民館の廃止、センターの運営や防災も地域任せにしようとしています。小島市議は、たちまち来年度から、支所窓口時間の短縮や公民館の廃止・コミセン[※]化を進めようとする市に対し、市民の理解は得られておらず白紙にするよう追及。大津市の未来のために市民とじっくり話し合っていくべきです。

※ コミュニティセンター

市は 市民には条例の可決後、広報で周知すると無責任な答弁でした。

「農業は国の基」大津でも振興を！

たてみち秀彦市議



大津市内の福刈り風景

農業は、私たちの食や自然環境を守るためになくてはならないものです。多国籍企業の利益優先の農業政策などにより、大津市の農家は減り続け、農業従事者も65歳以上が70%を超える一方、後継者が確保できず、耕作放棄地が増えています。たてみち市議は、就農者支援や大津の特産品の開発など、必要な予算をあてて農業振興に本気で取り組むよう求めました。

市は 現行の施策で適切だという姿勢に終始しました。

大津市2018年度決算

市民の暮らしを支える予算配分を

大津市の財政は、税金や手数料・利用料などから成り立っています。9月通常会議では、昨年度にその財政をどのように使って、どのような施策を行ったか（決算）が審議されました。

大事なことに金がかまわってない！

- ・障がい者の移動支援「ガソリン・タクシーチケット」補助の対象を制限
- ・災害対応に必要な消防局の車両が、更新できず
- ・市民が利用する公共施設の維持・改修を先のばし
- ・一人親家庭の入学祝い金を廃止
- ・生活道路の改修、進まず etc.

使い方がまちがってる！

- ・必要な予算を削り、急ぐ必要のない市債返還に44億円超をあてながら、41年連続黒字
- ・保育士不足のままに、民間保育園の建設だけを推進
- ・特定企業に便宜を図るシェアリングエコノミー推進。シェア自転車はたった半年で終了

急いでほしい
市民要望は
たくさんあるのに
何のための
税金？



耐震不足のまま何年も経過する中消防署（市役所別館）

9月通常会議の議案

5月に起きた保育園児の交通事故を受け、子どもの交通安全対策に9億6千万円が計上され、全会一致で可決されました。しかし、その

内107件は、以前から改善が必要とされていた箇所です。党市議団は、着実に実行できる体制と計画策定を求めて賛成しました。

がん検診手数料 値上げ！

来年度から平均6.8%の値上げとなり、時期は未定ですが、その後平均11.8%も値上げされる予定です。

児童クラブの開所時間 短縮

児童クラブの指導員の勤務時間は、保育準備、保護者対応、小学校との連携など保育の質を確保するために設定されてきました。開所時間が削られることで丁寧な対応が困難になります。

市民福祉に反する議案

自民・公明などの議員の賛成で成立

市ガスの民営化 譲渡益90億円の使い道

今年度からガス事業の販売部門を民営化したことで得た株式譲渡益のうち、60億円を、新・東部学校給食センターの運営費負担軽減の基金に積立て。積立ては毎年計画的に行えば良いもので、市民負担の軽減や介護・保育分野の人材確保など緊急の課題に使うべきです。

卸売市場の民営化 強引なやり方で迷走

市民の財産 投げ売り？

入場業者との十分な話し合いもしないまま、市は今年度から、市地方公設卸売市場の民営化のために買い手企業の公募を始めました。

しかし、買い手がつかず公募条件を変更。敷地の必要な面積のみの購入、固定資産税の免除、建物や備品等の市の瑕疵担保責任（何か不具合があれば市の責任で改修）を認めるというとんでもない内容です。

市民の食を支え、雇用・農業を守る卸売市場を投げ捨てるやり方は許されません。民営化は白紙にすべきです。

市役所・支所 窓口時間9時~5時に！

市は、市役所と支所の窓口時間を9時~17時に短縮することを決定しました。人件費の削減が目的です。しかも、2年前の事業レビューで取り上げたのみで市民への説明や周知もせず、いきなりの実施です。

時間短縮は市民生活・営業に大きく影響し、サービスを後退させるものであり中止を求めます。

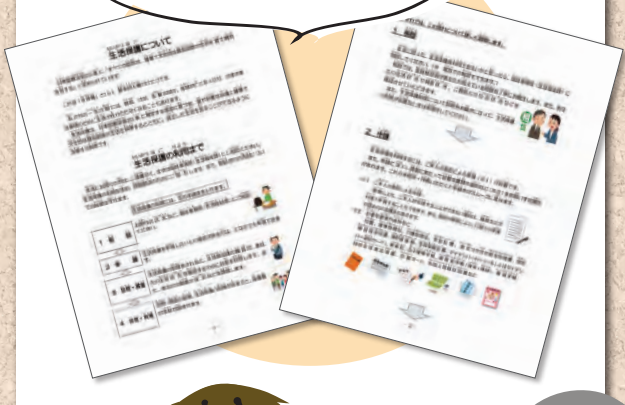
市民のみなさんとの 共同で実現!

日本共産党大津市議団は、粘り強く市民を守る施策を求め、取り組んできました。市長主導の強引な市政運営が問題となっている大津市ですが、市民や現場の声を無視しきれず、一つ一つの施策で前進を勝ち取っています。

生活保護のしおり ▶▶▶ 困難者に寄り添う内容に改善

長年、「生活保護を受ける前に自己努力せよ」という姿勢が前面に出されたしおりでしたが、改訂を重ね、「健康で文化的な」生活(生存権)を保障する制度であり、希望する人は誰でも申請できることが明記されました。

図やイラストも使い、
わかりやすくなりました



就学準備金 ▶▶▶ 入学前支給を実現

公衆トイレの整備不良 ▶▶▶ 市民の声を届けて改修

子どもの貧困対策 ▶▶▶ 来年度計画に盛り込まれることに

消防団など地域防災組織の 機器充実 ▶▶▶ さらに支援・ 整備を求めています

保育園の耐震改修 ▶▶▶ 唐崎・和邇・比良に予算計上

6月議会で工事期間中の仮設園舎建築に必要な設計予算がつきました。

市は、建替えを機に民営化を検討していますが、市立保育園としての存続を求めています。

その他 ……

被災ペット保護を
開業獣医師会と災害協定

ばらばらだったスポーツ施設の
予約を一元化

自衛隊の訓練情報の
ホームページ掲載 などなど

住んでいてよかった と思える大津市を!

市民に寄り添う希望 ある市政を

具体的な
政策を示し
予算要望

10月4日、日本共産党市議団は市長に対し、来年度の予算編成にあたっての政策要望を行いました。市政全体の方向性ととも、あらゆる分野の施策について新設や拡充、また見直しなどを求めています。

市長に要望する党市議団



国は、大津市の支所機能削減のように、市民生活にとって必要な機能を都市部などに集中させる「コンパクトなまちづくり」や、まだまだ問題も多いAIなどの先進技術の導入を進め、水道までも民営化しようとしています。国民の暮らしを支える責任を放棄し、それを地域住民に担わせるねらいです。現在の大津市政は、まさに国政を映す鏡です。

主権者である市民と誠実に向き合い、願いの実現に取り組むことが、自治体として第一にすべきことであり、まちづくりの基本ではないでしょうか。党市議団は、高すぎる国保料・介護保険料の軽減、子どもの医療費の無料化、公共交通の充実など市民に寄り添う施策を着実に進めてこそ、市内どこに住んでも、誰もがいきいきと暮らせる大津市が実現できると考えます。そのために市民のみなさんと、職員のみなさんとも力を合わせて取り組んでいきます。

日本共産党
市議団は
めざします

※要望の内容は、市役所内の日本共産党市議団控室、またはホームページでご覧いただけます。

大津 共産党 検索

みなさんと
ともに

日本共産党
大津市議員団



杉浦とも子



岸本のり子



たてみち秀彦



林まり



柏木けい子



小島よしお